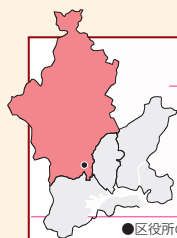


# 区民のページ

※人口は住民基本台帳による数（令和3年9月30日現在）

各区からのお知らせや  
魅力・取り組みなどを紹介します。



人口：295,066人 面積：450.70km<sup>2</sup> ■北区役所 〒700-8544 北区大供一丁目1-1(市役所本庁舎および分庁舎内)

## 北区 中心市街地の街路樹再生プログラム

●区役所の位置

中心市街地の街路樹は、これまで落葉などによる沿道への影響を考慮しながら剪定を行ってきましたが、年々剪定時期が早くなったことや、枝を大きく切った結果として、樹木1本1本の大きさや形がバラバラになり、街路樹として統一感があまり感じられない状況がありました。

このため令和5年度末を目標に街路樹の形を整えながら緑のボリュームを確保することで、春は新緑、夏は緑陰、秋は紅葉など、街に季節ごとの潤いや彩りを与える街路樹を再生する取り組みを進めています。



皆さんも、中心市街地を訪れた際には、ボリュームアップが進む街路樹にも注目しながら、街歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。



●問い合わせ  
北区役所地域整備課  
☎086-803-1687



人口：148,001人 面積：51.24km<sup>2</sup> ■中区役所 〒703-8544 中区浜三丁目7-15

## 中区 旭川に新たな橋 ～中区管内でも本格的に工事着工します～

●区役所の位置

中区は、西には旭川、東にはその放水路である百間川が流れ、豊かな自然環境と利便性の高い住環境が調和した快適で住みやすいまちです。

一方で、都心部へ向かう旭川などに架かる橋梁の近辺で、通勤時をピークに発生する慢性的な渋滞が交通課題の一つとなっています。

この渋滞解消に向けた取り組みの一つとして、都心に集中する自動車を分散・導入する機能を持つ外環状道路、中環状道路の整備を重点的に進めているところです。

その中には、平成21年度から事業を進めている中環状道路の一部であ

る下中野平井線（旭川工区）があります。令和2年度から、旭川での橋梁工事に着工しており、河川内で計画している橋脚3基のうち、北区側で1基の建設が完了しています。

今年度は、中区側の河川内で2基の橋脚の建設を進めており、今後中区での工事が本格化していきます。

引き続き本工事にご理解とご協力をお願いします。

●問い合わせ  
東部幹線道路建設課  
☎086-944-5053  
中区役所地域整備課  
☎086-901-1634



▲完成イメージ（全体）

■各区役所への電話は、市役所代表番号からおつなぎします。

市役所代表

☎086-803-1000



人口：93,863人 面積：160.53km<sup>2</sup>

■東区役所 〒704-8555 東区西大寺南一丁目2-4

## 東区

### We Love 東区♥おみやげ開発プロジェクト2021が進行中です!

●区役所の位置

岡山が誇る「おみやげ」を「東区」から生み出し、東区の高校生が「東区の素晴らしさを伝えたい」という思いを形にするため令和2年度から「We Love 東区♥おみやげ開発プロジェクト」に取り組んでいます。

令和2年度にはグランプリを獲得した岡山学芸館高校の「五福チャーム」をはじめ、地域の歴史や文化、



▲キックオフイベント（オンライン）

特色を捉えた若者らしいアイデアにあふれた商品が多く開発されました。

令和3年度はさらなる発展を目指して東区内3校の高校から6チームがエントリーし、チームの個性を生かしながら商品開発に励んでいます。今年度はコロナ禍のためオンラインでの会合がメインの活動となっていますが、高校生の柔軟な発想から新たなアイデアが生み出されています。

今後は中間発表会、セミナーを経て、2月に行う発表会でグランプリを決定する予定です。

現在ウェブサイトとInstagramで随時情報を発信しています。イ

ンスタグラムでは各チームの開発の様子も見る事ができるので、ぜひフォローして応援してください。

Instagramハッシュタグ

#おみやげ開発プロジェクト

#WeLove東区



▲開発打ち合わせ

#### ●問い合わせ

東区役所総務・地域振興課

☎086-944-5008



人口：168,311人 面積：127.48km<sup>2</sup>

■南区役所 〒702-8544 南区浦安南町495-5

## 南区

### 興除の人たちの生活を支えた汗入大井戸 ～井戸枠のいわれ～

あせりおおいど

●区役所の位置

興除公民館の入口付近に井戸枠があるのをご存じでしょうか。

この井戸枠は、長年、興除の人たちの飲み水を供給してきた汗入大井戸のものでした。

江戸時代の後期、干拓により造られた興除新田では、どこを掘っても湧き出る水は塩分を含んでいて飲み

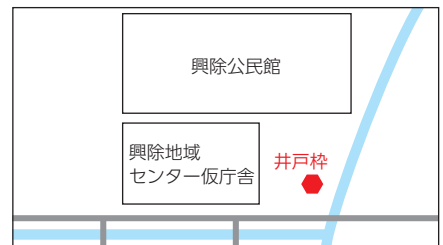


水にならなかったため、興除の人たちは隣村から水をもらっていました。

興除村の開村後しばらくして、妹尾村字汗入地内の汗入用水路沿いに井戸を掘ったところ、良質の真水が湧き出たのでこれを村営の井戸としました。

その後、興除村に上水道が普及するまで120年余り、興除の人たちの飲み水を賄ってきた大井戸も、県の道路整備に伴い埋められました。現在は、興除公民館の敷地内にこの井戸の果たした功績をしのび、汗入大井戸の枠石が残されています。

お近くにお越しの際は、ぜひご覧になり、120年の歴史を感じてみてください。



#### ●問い合わせ

興除地域センター

☎086-298-3131

興除公民館

☎086-298-2660